

楽器に使用する木材のサステナビリティを考える『「楽器の木」展』
マリンバ、ピアノ用の木材から生まれた「アップサイクリングギター」2種を展示

期 間：2023年9月6日（水）～ 2024年5月31日（金）

会 場：ヤマハ銀座店 地下1階

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、楽器に使用する木材についての情報や、当社の木材や森林保全への取り組みを紹介するとともに、関連する試作品の展示を行う『「楽器の木」展^{*1}』をヤマハ銀座店で開催しています。

このたび、マリンバおよびピアノの未利用材^{*2}を用いて製作した「アップサイクリングギター」のプロトタイプ、『モデル「マリンバ」』と『モデル「ピアノ」』を新たに展示します。

「アップサイクリングギター」は、さまざまな楽器づくりで発生した未利用材からの「アップサイクル^{*3}」で製作したギターです。今回の展示品は、2022年12月に『「楽器の木」展』で公開した、多様な未利用材を活用してつくられた「アップサイクリングギター 1stプロトタイプ」に次ぐモデルです。

当社の楽器には、それぞれに最適な木材が使われていますが、「アップサイクリングギター」では、ギター以外の楽器に用いられている木材にも目を向け、新たな価値や魅力を持つギターを創り出すことを目指しています。この取り組みを通して、設計・デザイン、技術等の知見を深め、今後の木材資源の有効利用およびサステナブルな楽器づくりに生かしていきたいと考えています。

展示期間中には、「アップサイクリングギター」を演奏できる機会やイベント等も予定しています。



ヤマハ「アップサイクリングギター」プロトタイプ
左：マリンバの音板の木材などで作られた『モデル「マリンバ」』
右：ピアノの響板の木材などで作られた『モデル「ピアノ」』

■『「楽器の木」展』「アップサイクリングギター」展示概要

期間：2023年9月6日（水）～2024年5月31日（金） ※ヤマハ銀座店の営業日・営業時間に準じます

会場：ヤマハ銀座店 1階・地下1階（東京都中央区銀座7-9-14）

※「アップサイクリングギター」は地下1階に展示

料金：入場無料、予約不要

ウェブサイト：https://retailing.jp.yamaha.com/shop/ginza/experience_area/event/detail?id=4321

展示品：ヤマハならではの楽器づくりの技術とデザイン性により、ギター本来の魅力を備えた「アップサイクリングギター」。いずれも、ヤマハエレキギター「REVSTAR」をベースに製作。

| 展示品 | 主な特徴 |
|---|---|
| ヤマハ アップサイクリングギター プロトタイプ #2 モデル「マリンバ」 | マリンバの未利用材を使用したエレキギター ・ネックからボディまでをマリンバ音板材（ローズウッド）で製作 ・マリンバの音板材を並べたボディトップの特徴的なデザイン ・バインディング*4に真鍮（しんちゅう）を使用 |
| ヤマハ アップサイクリングギター プロトタイプ #3 モデル「ピアノ」 | ピアノの未利用材を使用したエレキギター ・ボディトップにグランドピアノの響板材（スプルース）を使用 ・響板材の響きを活かすためにセミホロウボディ*5を採用 ・指板にはピアノの黒鍵で使用される黒檀（こくたん）を使用 |

試奏・イベント：今後、ウェブサイトでご案内予定

*1 「楽器の木」展

当社では、世界中の人々のこころ豊かなくらしの実現を目指して事業活動を行う上で、持続可能な社会の実現に向けてさまざまな取り組みを行っています。その中の重要な活動のひとつが、木材資源への取り組みです。楽器にはさまざまな木材が使われており、当社は楽器づくりに必要な木材を世界各地から調達しています。また、自然環境を保全しながら、高品質な木材を持続可能な仕組みの中で調達するために、日々調査や研究を続けています。「楽器の木」展は、楽器に使用する木材について多くの方に知っていただき、木材資源のサステナビリティについて考えるきっかけになることを願い開催しています。

<ご参考>

- ・企画展示『「楽器の木」展』をヤマハ銀座店にて開催 第一弾は、「アップサイクリングギター」を展示（2022年12月5日）

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22120501/

- ・企画展示『「楽器の木」展』第二弾をヤマハ銀座店にて開催「サステナブルキーボード」2種を展示（2023年5月31日）

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23053101/

- *2 木材を厳選し加工する過程で発生し、楽器づくりに使用されなかった材料や端材のこと。
- *3 捨てられるはずだったものに新しい価値を与え、より高い価値のものに生まれ変わらせること。
- *4 ボディや指板等の縁取り用の装飾のこと。
- *5 内部の両サイドに空洞を有するボディのこと。

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：矢幡 TEL. 03-5488-6605
ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/（取材申し込みや広報資料請求が可能です）

■ 一般の方のお問い合わせ先

ヤマハ銀座店 インフォメーション TEL. 03-3572-3171
